

県・市と連携した効果的な道路整備事業

須坂市 まちづくり推進部

須坂市の概要

須坂市は長野県の北東部に位置し、西は千曲川をはさんで善光寺を有する長野市と接しています。

須坂市の特産として、フルーツ（桃、ぶどう、梨、りんご等）があげられます。須坂市の気候は内陸性気候で、昼夜の寒暖差が大きく、年間降水量が878mmで全国でも珍しい少雨地帯のため、美味しい果樹が育つのに最適な条件がそろっています。フルーツの中でも、種がなく皮まで食べられる“ナガノパープル”は須坂生まれのぶどうです。

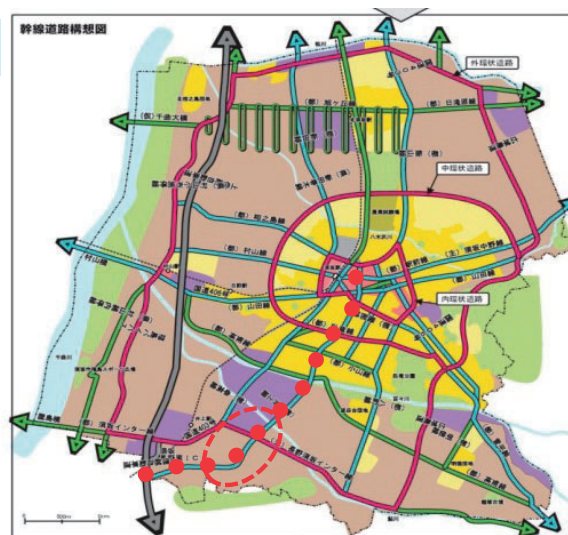


須坂には明治から昭和の初期に栄えた製糸業の名残として、今でも多くの“蔵”が残り「蔵のまち」として保存と活用に取り組んでいます。また、日本の桜名所100選の臥竜公園、日本の滝100選の米子大瀑布（2016年国の名勝指定）などがあります。



『市道園芸高校井上線』

『市道園芸高校井上線』は、須坂市南部を横断し須坂市街地を結ぶ放射状の都市計画道路で、国道403号を補完する重要な幹線道路となっています。今回の整備箇所は次ページ図の（主）長野須坂インター線と交差する前後の区間で須坂長野東IC周辺の井上・幸高地区になります。





3つの効果に期待

① 安全な通学路の確保

『市道園芸高校井上線』は井上地区から須坂市街への中学校、高等学校の通学のため、多くの生徒が通学路として利用しています。また、長野電鉄須坂駅を利用する生徒も当該路線を利用しています。

改良前は右の写真の様に、歩道が整備されていない区間があり、大変危険な箇所となっており、早急な対策が必要でした。

そのため、今回の整備では、**安全な通学路の確保**を最も重要な課題として道路整備を行いました。

② 国道・県道・市道の渋滞緩和

(国) 403号、(主) 長野須坂インター線、『市道園芸高校井上線』に囲まれる、幸高・井上地区の「須坂長野東IC」周辺は、複数の路線の交通接点となっており恒常的な渋滞箇所(右の写真：(国) 403号の状況)となっています。

『市道園芸高校井上線』は、「須坂長野東IC」を迂回し、須坂市街⇄長野市若穂方面、菅平(上田市)方面⇄長野市若穂方面の交通の流入が多く見られ、右折待ちによる断続的



な渋滞が発生していました。

長野県事業では（国）403号の4車線化事業を実施、須坂市事業では、「井上町東」交差点の改良を行い当該地区の渋滞緩和を図りました。

須坂市の事業内容として、（主）長野須坂インター線を含む、4方向全てに右折ポケットを設置する交差点改良を行いました。また、長野県警察本部の協力により、右折矢印信号を設置していただきました。

下の写真は、改良前の『市道園芸高校井上線』の渋滞時の状況で、3～4サイクル程度の待ちが発生していました。改良後は、朝夕のラッシュ時においてもスムーズな通行を確保することができました。



③ 「須坂長野東 IC」 周辺地区の開発促進

長野県・須坂市による道路事業は、既存の産業・工業団地から「須坂長野東 IC」へのスムーズな接続による利便性の向上とともに、「須坂長野東 IC」周辺地区の更なる開発を促進するものとなっています。

現在、当該地区においては大規模な開発、工場の建設等が計画されており、地域経済の発展にも寄与しています。

むすび

今回の『市道園芸高校井上線』道路改良事業は、長野県事業と連携することにより、**安全な通学路・渋滞緩和・地域経済の発展**の効果を 얻을ことができました。

厳しい予算の中で効果的な道路事業を行うことで、今後の道路行政のあり方と、道路行政の重要性を再確認することができました。